



光岡 実

市道※ストック総点検の調査結果は

市長 14路線について早急に補修が必要

**光岡** 平成26年度に全市道において道路ストック総点検が行われたと思うが、その調査結果は。

**建設部長** 平成25年度調査分は、26年度に5路線完了。今年度に1路線、28年度に2路線を予定している。

**市長** 平成25年度に調査した8路線と26年度に調査した703路線のうち14路線について、早急に補修が必要な路線という結果がでたので、随時補修をしていきたい。

平成26年度に調査した14路線についても、優先順位等を検討し、平成28

年度に国に計画を提出して、順次補修の予算要求を行っていく。

国民健康保険事業の県への移管について

**光岡** 現在の状況は。

**市民部長** 法の改正により、市町村国保は平成30年度より、都道府県と共同運営となり、今年度から具体的に県と市による役割分担の検証、内容検討等が行われていく。国も平成30年度から3,400億円の財政支援を行う予定。



▲路面性状調査のための測定車（車内）

※ストック総点検：路面性状調査



合瀬 健一

マイナンバー制度を問う

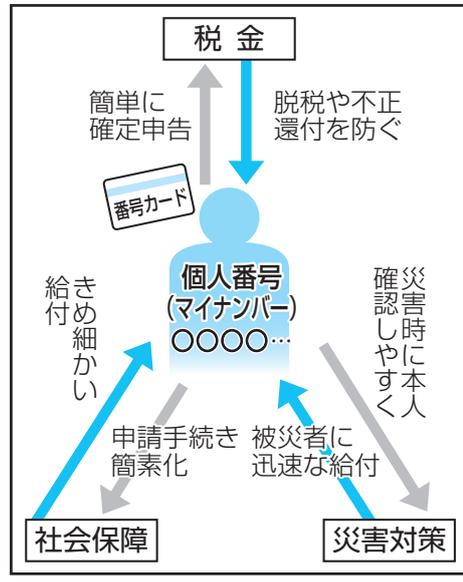
市長 社会保障、税、災害対策に利用する

**合瀬** マイナンバー制度の正式名称は社会保障・税番号制度と聞いているがその内容は。

国民にとって公平公正な社会を実現するための社会基盤となるものである。具体的には10月以降、住民票を持つ市民に12桁の個人番号が付された通知カードが郵送され、来年1月以降に申請をすれば個人番号カードが受け取れる。

**市長** 複数の機関に存在する個人の情報を同一の人物であるということの認識を行うための基盤であり、社会保障や税制度の効率性・透明性を高める。

申請手続き簡素化、被災者に迅速な給付、災害時に本人確認しやすく、きめ細かい給付



▲マイナンバー制度の活用イメージ

**合瀬** 住民に対する周知は。

**総務部長** ホームページや市報で周知のための広報を行っている。

地方創生チャレンジ交付金事業について

**合瀬** 10事業取り上げられているが、事業効果の検証は。

**企画政策課長** 成果指標としては、他の地域のモデルケースになるのか、地域課題の解決に向かうのか、そういう指標を立てている。話をそのつど聞き取りをして、成果が出るよう期待している。



富永 正樹

## 市民の声や力を活かす 観光行政を

市長

市民と行政との協働事業  
という形でやりたい

**富永** ①「小城蜚の郷ファクトリーパーク」の残地の今後の活用は。  
②巨費を投じて建設中のまちなか市民交流プラザの中に太陽から採火した

「平和の火」、「思いやり  
の火・怒の火」を未来永  
劫灯し、光のページエン  
ト（ロウソクの火、花火  
などを用いた光の集合を  
大規模に提示する様）に  
繋いで。

③商工観光課のこれ  
からの考え方、方向  
性は。

④平成24年9月に  
「小城郷土史研究会」  
の会長より出された  
祥光山星厳寺周辺や  
開山堂の整備保存は。

⑤JR牛津駅にある  
小城市産業展示館の  
今後の活用は。

**商工観光課長**

④

社の現地視察を受  
け好感触と感してい

る。また、民地の空き地  
があれば、企業の問い合  
わせがあった時には引き  
合わせもやっていきたい。  
④文化課が所掌している  
が、連携を図り整備を進  
めたい。

**市長** ②現在考えていな  
い。

**産業部長** ③観光協会と  
協働しての観光イベント  
を進めたい。また、佐賀  
市を含めた広域的な観光  
振興を進めたい。

⑤地元の方々に有効に  
使っていただくために、  
現在牛津芦刈商工会へ利  
活用についての協議をお  
願ひしている。



平野 泰造

## 小城市周辺部水路の 整備は

市長

国、県と連携し  
協議する

**平野** ①圃場整備後40年  
ぐらい経過し、今まで何  
も整備されていない一級  
河川堤防沿いの水路が多  
くある。この水路の責任  
の所在は。

②この水路の整備は。

**市長** ①河川管理者  
である国交省所管の水  
路と、国県から法  
定外水路として市に  
移管されている区域  
もある。責任の  
所在は両方にある。

②国、県の水路も、  
市に移管されている  
水路も繋がっている  
ので河川管理者と連  
携協議をしていく。

**平野** 牛津川右岸、左岸  
の整備の状況が大きく違  
う。同じ一級河川の堤脚  
水路である。市長は現場  
を確認し判断を。

**市長** 右岸、左岸の整備  
の差が大きいことは、今  
までの経緯経過を踏まえ  
て現場を確認した上で対  
応を考えたい。

**平野** クリーク防  
災事業で整備され  
ない水路につい  
ては。

▲国の一級河川堤防沿いの整備されていない堤脚水路



**産業部長** 水路と  
田面の高さが2m  
の要件に満たぬ小  
規模水路は、多面  
的機能支払交付金  
事業や小城市農業  
用施設機能管理事  
業で対応したい。  
小規模水路整備事  
業の創設を県へ要  
望していく。



岸川 英樹

### 区長連絡簿等の要望に解決は

市長

緊急性、必要性を考慮優先順位をつけ解決を

**岸川** 要望、陳情等の件数、予算金額はどうか。

**市長** 過去5年間で1,038件の提出件数で、解決が1,007件、未解決が31件で、予算は集計できていない。

**岸川** 解決できていない31件は次年度に回すのか、これは解決できないのか。

**市長** 各区長に説明了解をお願いしているが、少しでも早く地区の課題として、解決を図ってきたい。

**岸川** 緊急車両が進んでこない永田・弁財線の拡張工事で要望が出されて、7年を経過し解決していないが無理か。

**市長** まず効果的に隅切りという形で拡幅できないか、集落内を拡幅する用地の提供など、そういう形で協力してもらえば事業はできると感じる。その協議をまた今後続けていきたい。

### その他の質問

○小城市防災対策

①地震被害予測に対する対応策について

②津波浸水想定に対する対応について



▲アイル津の里温泉 (牛津町)

**中島** 平成25年6月定例会で表明されたアイル資源磨き構想の現在までの経過、状況、今後の考えと、行政的課題は。

**市長** 構想の中で、アイル津の里温泉とその周辺の資源を磨いて、スポーツ、医療、温泉と連携した特色あるまちづくりを目指し多岐にわたる調査を実施し具現化

するためには必要な考え方や目標、また、目標を達成する手段等について職員を対象とした様々なワークショップを実施し、その後、外部との意見交換などを行っている。また、今後は人口減少社会に歯止めをかけ、地方創生の展開を目指し、市総合戦略の重要な柱に位置付けて進めていく。

### アイル資源磨きの行政的課題

市長

行政的課題は財源の問題

**企画政策課長** 行政的な課題として財政的な財源の問題、アイル周辺の自然立地環境、現在までに投資を行っている農業振興地に対する開発、水路、クリーク整備などをどう整理して行うのが課題としてある。

**中島** 財政的な課題についての具体的な検討は。

**企画政策課長** 現時点では具体的な検討は行っていない。

りたい方は、会議録が各町図書館にありますのでご覧下さい。議録の設置及びホームページ掲載は11月末の予定です。



下村 仁司

## 小城市の大雨台風時の 水路管理は

市長

今年は3回対応で大きな災害もなく安心している

**下村** 7月1日市役所に電話した2件についてどう対応されたか。

**建設課長** 排水ポンプ場に稼働要請をした。排水樋管から逆流している現地に向いた。

**下村** 8月12日3回電話したがその内容の把握と対応は。

**建設課長** 砥川保育園の裏が浸水している羽佐間の水の対応ということ、多久市にポンプ稼働を依頼した。

### 地方創生によるまちづくりについて

**下村** 国策の地方創生に沿った小城市のまちづくりの考え方は。

**市長** 若い世代の就労・結婚・子育てが希望どおり実現するように小城市の総合戦略を策定して取り組む。



樋渡 邦美

## 中国海塩県との交流事業 の状況は

市長

互いに交流を深めていければと思う

**樋渡** 交流事業について3月議会で予算計上されたが説明不足で予算の減額、今回再度予算計上されたが全体像が全く見えない。そこでこれまでの経過と今後の取り組みについて具体的明確な説明を。

職員を派遣し、その結果を議会に報告する。これがこれらに沿った施策が必要となる。

### 人口減少対策は

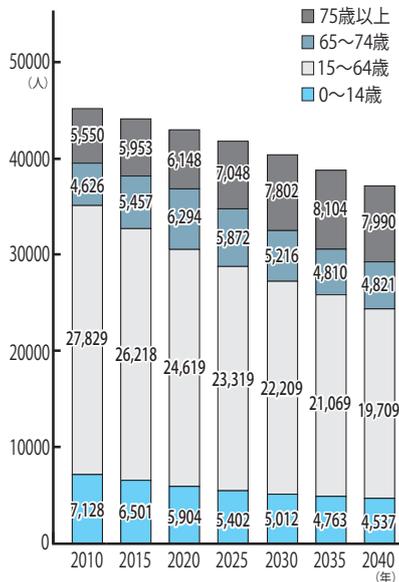
**樋渡** 小城市の将来における人口減少対策は。

**樋渡** 県の試算によると市は10年後は約4万1千人、20年後は3万8千人の予測がなされている。そのためには企業誘致による雇用の促進、市の基幹産業である農林水産業の後継者対策、また定住促進の強化等に尽力を望む。

**総務部長** 総合戦略の中で基本目標として「雇用の創出」「人の流れ」「若い世代の結婚・出産・子育て」。

**市長** 昭和56年日中農業農民交流協会の事業として農業研修生10人程度の方が三日月町、牛津町の農家に約11ヵ月間ホームステイし研修された。その団長であった方が現在海塩県人民外交協会に勤められ、海塩県より友好交流の申し出があり民間の交流をしていた。今後行政間の交流となるとそのあり方を検討するため

佐賀県による小城市の人口推移予測





江島佐知子

### わかりやすい道路標示で安全確保を

市長

交通安全が確保されるよう公安委員会に要望

**江島** ①横断歩道など道路標示が消えかかってわ

かりづらく危険な箇所が多いが、対応は。

②小学校区ごとに開かれているセーフティネット会議での意見はどう活かされているか。

③小城駅北交差点は整備されたが、危険な状態のままである。信号設置は。



▲横断歩道が消えかかって危険な交差点

**市長** ①道路交通法の規制による標示は県公安委員

会が管理している。標示がわかりづらいという

市民の情報や道路パトロールで発見した箇所は早急に補修してもらうよう要望していく。

**教育長** ②会議で出た危険箇所は小城市通学路安全推進会議に報告

し、関係機関が連携して安全点検を実施している。学校でも子どもたちへ指導している。

**建設部長** ③まちづくり推進課で以前から警察と協議している。前向きな検

討を今後も要請していく。

### ドクターヘリの運用

**江島** ドクターヘリの活用については年々増加し

ている。学校施設が緊急ヘリポートに指定されているが、学校教育に支障のないよう緊急ヘリポートの指定を見直すべき。

**総務部長** ほかに代わる場所がないか、佐賀大学附属病院、小城消防署と協議している。

### その他の質問

○マイナンバー制度について



永瀧 和正

### 10,556人の心をまちづくりにどう生かすか

市長

28年度から牛津の中心市街地を計画的に取り組む

**永瀧** ①「語ろう牛津を、起こそう牛津の風、舞い

上がれ牛津の空に」を標榜したまちづくりシンポジウム in 牛津の開催な

ど、牛津まちづくり協議会の活動をどう思うか。

②牛津駅周辺整備と駅南口の開設、快速電車停車

についての10,556人の署名の重みにどう答えるか。

③牛津駅には高架の跨線橋があるが、階段の乗降が困難な人が多い。人に優しいまちづくりを進めるため、バリアフリー化した自由通路（高架）の設置は。

**市長** ①住民自ら地域の課題に目を向けて取り組

むことは市民協働の観点から大変意義深い。市民力があることを評価する。

②関心の高さを改めて認識した。

28年度から行政と関係機関、地元を含めたまちづくり協議会等を立ち上げて、駅舎を含めた牛津の中心市街地のまちづくりを計画的に取り組む。

③駅では跨線橋のバリアフリー化が最優先。高架のあり方、自由通路としての高架のかけ方等検討していく。

### その他の質問

○小城市総合教育会議と教育大綱について



▲駅南口の開設と人に優しい跨線橋が必要な牛津駅

りたい方は、会議録が各町図書館にありますのでご覧下さい。会議録の設置及びホームページ掲載は11月末の予定です。



上瀧 政登

## フリーゲージトレインは 大丈夫か

市長  
試験走行の再開のメドは  
立っていない

**上瀧** フリーゲージトレインの走行試験が中断している。再会は可能か。また佐賀県・長崎県の振興に本当に役に立つのか。

**市長** 性能確認試験を行っていたが、台車の欠損や摩耗痕が発生し、昨年11月より中断している。詳細調査に1カ月程要する見込みと発表されたが、再開のメドは立っていない。

フリーゲージトレインの開発費に450億円以上の研究費を使ってその開発は進められてい



▲開発中のフリーゲージトレイン

る。フリーゲージトレインは鳥栖・武雄間を在来線で、武雄・長崎間をフル規格で走るもので、新幹線の開発についての事業費は縮減されるものものトータルで考えればそのメリットは見い出せないと思う。フル規格で整備

するとなれば、佐賀県の財源の問題もあるし、時間的にも長くなる。課題はあるが、せっかくお金をかけて整備するのであれば、将来のことを考えるとフル規格が望ましい。

## ケータイ等の使用制限運動を展開しては

**上瀧** 青少年が夜遅くまで使用し悪影響がある。制限運動を展開しては。

**教育長** 大事なことです。

## その他の質問

○長崎本線踏切りの安全性について



松尾 義幸

## 統計調査による空き家は いくらあるのか

建設部長  
賃貸や売却を除き  
970戸の空き家がある

**松尾** 12月議会に空き家等条例を提案することが進められているが、

- ①検討されている空き家条例のポイント。
- ②特定空き家(放置空き家) 認定の統一基準策定を県へ提案された内容は。

- ③平成25年度消防局調査の480件の空き家が特定できているか。
- ④放置空き家の解体と財政支出、跡地利用について。

**市長** ①倒壊のおそれがある空き家について、緊急時に建物への防護ネット設置やロープによる補強など。

②県の知見を活用しながら県下統一的な特定空き家の認定基準作成を要望。

**建設部長** ③ゼンリン地図に空き家の位置を表示する形で整理している。④国の財政上、税制上の措置の動向を踏まえながら支援策に取り組む。

**松尾** 5年毎に行われている平成25年住宅・土地統計調査で、小城市に空き家はいくらあるのか。

**建設部長** サンプルング調査をもとに空き家を推計すると1,610戸ある。空き家率9.9%。そのうち賃貸、売却用住宅が640戸。それを除く、その他の住宅は970戸。



▲道路沿いの空き家



諸泉 定次

### 住民サービスへ 非常勤の待遇改善

市長

非常勤の通勤費支給を  
検討していきたい

**諸泉** 住民サービスの充実を図るため、専門性の高い職種の時・嘱託の雇用期間の見直しや臨時の通勤費に見合った額の支給、長期間派遣できる職員体制が求められる。市長の見解は。

### 自衛官募集への市の 対応

**諸泉** 来年春高校卒業予定の子どもの名簿を本人、保護者の了解なしに自衛隊法で提出を求め

られ、紙で提出した。紙で渡せば紛失の恐れがあり、情報流出の可能性が高いという理由で、県内20市町で11市町が閲覧にとどめている。小城市個人情報保護条例と相矛盾しない対応が必要だ。

**市民部長** 自衛隊

佐賀地方協力本部長名で依頼された。総務課と協議して今年から紙の提出をした。

### その他の質問

○教職員の多忙化  
解消・土曜授業  
等について



※陸・海・空自衛隊ホームページより引用

▲自衛官募集のポスター



香月チエミ

### 避難対策の充実は 欠かせない

市長

防災訓練等を通して細部をつめ  
県と連携していく

**香月** 原発災害時の受け入れ予定人数及び避難場所となっている小城市公民館へは、どこの地区から何人か。収容可能面積の算出は妥当か。

らの情報共有は。

大事。

**市長** 具体的に想定していない。現時点では一時的な避難の場所ということ。年1回の県の原子力

**香月** 避難経路とスクリーニングの場所は。

**市長** 玄海町から約6,000人、唐津市の一部から約18,000人。小城市公民館へは、外津地区と普恩寺地区から1,000人。廊下、トイレ、階段などを除き収容可能が1,068人。一人当たり2㎡で算出。

防災訓練の中で、玄海町は小城市にまず避難する訓練をするという段階。今後、県などとの連携が

**市長** 国道203号線を基幹道路とする。県内7か所のうち小城市役所でも県がスクリーニングの予定。

**香月** 市民への周知は。

**市長** 県が「原子力防災のてびき」を2回配布した。原子力防災訓練や玄海町などからの避難があることについて、広報等で知らせたい。



▲玄海町からの避難訓練

**香月** 避難期間の想定は。受入元自治体との平常時か

(注)スクリーニング：放射能の汚染検査と除去



西 正博

## 更なる子ども医療費支援 への考えは

**市長** 助成の拡大については  
担当課と協議している

**西** 子どもの医療費助成について現在、未就学児は一部保護者負担を除き全額実施して頂いている。小中学生の児童生徒については、入院費と調剤費で助成して頂いている。大変有難く思っている。しかし、県内20市町のうち、17の市町で内容は異なるが通院医療費の助成を行っている。過去の議会答弁でも内容の拡大を図りたいとも発言されている。財源として「ふるさと応援基金」の充当も市民の方の理解は得られるのではと思うが、市長の見解を尋ねたい。

と小城市を除く7市で実施されている。小中学生までの助成を行えば5,200万円を必要とし、18歳まで拡大した場合はさらに4,200万円の財源を要すると試算している。財源の問題もあるが義務教育の子どもたちへの医療費助成の拡大について担当課と協議している状況。

**その他の質問**

- 生活困窮者自立支援制度の現状と今後について
- 道路交通法改正に伴う自転車マナーの向上は
- 災害時の危機管理について

**市長** 小学生の通院の助成は、佐賀市・伊万里市



▲期待される子どもへの更なる医療費の助成



深川 高志

## 市民交流プラザの 完成予定は

**市長** 建物の完成が大変遅れている  
現状である

**深川** 中心市街地活性化事業の核となり、交流人口の増加、にぎわいの創出など大きな期待がされている交流プラザの建設工事が遅れていると聞いているが、どのような状況か。

建設需要が急増し、そのため人手不足、鉄骨等の資材の調達の遅れ、更に天候不良により建物の完成が大変遅れている現状である。現在確認できているのは、建物の完成が検査手続等を含めて11月末を予定している。外構の完成が12月上旬までの延長見込みとなっている。

▲完成が遅れ、まだ足場が残る交流プラザ（9月現在）



**市長** 交流プラザは、本年の9月30日完成を目指して工事を進めてきた。しかし、全国的な建設業の労働者が減少するなか、国内の建設需要が急増し、そのため人手不足、鉄骨等の資材の調達の遅れ、更に天候不良により建物の完成が大変遅れている現状である。現在確認できているのは、建物の完成が検査手続等を含めて11月末を予定している。外構の完成が12月上旬までの延長見込みとなっている。

建物の完成した後に、商工会議所がプラザへ移転し、勤労者福祉会館の解体に着手して、その後、に側溝、フェンスの設置、舗装、駐車区画のライン設置などを実施していく計画である。



松並 陽一

## 国道207号線の3交差点の改良は

市長 前満江、江津交差点は順次改良される予定



▲県内でも交通事故が多い前満江交差点

**松並** 前満江、江津、本町の3交差点は、国・県によりどのように改良されるのか。

**市長** 前満江交差点は34号線に対して207号線

を垂直に結ぶ計画で、28年度以降の着工予定である。江津交差点は4方向全ての歩道、右折レーンを整備する計画で、用地買収の進捗次第では28年度からの着工予定である。

本町交差点は、5差路を変えることは難しく、南側の老朽化した道路の改良と、歩道の確保を今後要望していく。

## 西九州大学地域看護学部誘致

**松並** 26年度だけで18も

の大学が看護学科を設置し、国内全758校の大学のうち、228校が看護学科を有する。看護師の需要が高まることと同時に、看護学科の設置も増えていることも踏まえて、誘致を計画すべきではないか。

**市長** 全体では看護学科は増えているが、佐賀県などの地方には少なく、需要はあると考えている。

**松並** 大学周辺環境整備に必要な経費は。

**まちづくり推進課長** 桜岡小プール移転の用地補償・工事費別で約1・7億円。

## 天山区共同環境組合 長与町・時津町へ視察

(期日) 7月23日(木)  
(目的及び視察地)

●焼却処理施設建設の規模等の研修の  
ため

(長崎県長与町・時津町)

小城市では現在、

可燃ごみの処理は唐津市にあるクリーンパークさがへ委託して焼却処理を行っている。昨年10月に小城市と多久市が共同で可燃ごみを焼却処理する施設建設のため、天山区共同環境組合が設立された。

平成27年度の環境組合の事業は、焼却処理施設を建設するための基本計画策定業務等が行われており、両市から出される可燃ごみの量から処理施設の規模等が検討されている。



▲長崎県長与・時津環境施設組合での視察

また、環境組合議会の活動として、今後建設される焼却処理施設をより良いものにするため、7月に小城・多久両市に人口規模が近い、長崎県の長与・時津環境施設組合への視察研修を行った。